滋賀県がん診療連携協議会 議事結果報告書

会	議	名	令和2年度 第2回滋賀県がん診療	原連携協	協議会		
開	催期	間	令和3年3月17日(水)~3月23日	(火)			
開	催方	法	電子メールによる意見交換				
会		員	【会員】				
お	ょ	び	滋賀県立総合病院	一山	智	(会長)	
部	会	長	滋賀医科大学医学部附属病院	田中	俊宏	(副会長)	
			大津赤十字病院	石川	浩三	(副会長)	
			公立甲賀病院	辻川	知之		
			彦根市立病院	金子	隆昭		
			市立長浜病院	神田	雄史		
			高島市民病院	鈴木	聡		
			滋賀県医師会	越智	眞一		
			滋賀県歯科医師会	中村	彰彦		
			滋賀県薬剤師会	大迫	芳孝		
			滋賀県看護協会	廣原	惠子		
			滋賀県診療放射線技師会	古山	忠宏		
			滋賀県臨床検査技師会	大本	和由		
			滋賀県歯科衛生士会	土屋	奈美		
			滋賀県がん患者団体連絡協議会	菊井	津多子		
			滋賀県がん患者団体連絡協議会	八木	政廣		
			滋賀県健康医療福祉部	川崎	辰己		
			【部会長】				
			滋賀県立総合病院	山内	智香子	(相談支援部会)	
			大津赤十字病院	廣瀬	哲朗	(地域連携部会)	
			滋賀県立総合病院	山本	秀和	(がん登録推進部会)	
			滋賀医科大学医学部附属病院	谷	眞至	(診療支援部会)	
			滋賀医科大学医学部附属病院	村上		(研修推進部会)	
			滋賀県立総合病院	花木	宏治	(緩和ケア推進部会)	
							(敬称略)

議事概要【審議事項】

1. 令和2年度各部会の最終評価について

協議会・企画運営委員会および各部会より今年度の活動と最終評価について、下記の とおり報告があり、承認された。

(協議会・企画運営委員会)

新型コロナウイルス感染症対策として、オンライン開催が多くなったが、協議会活動の周知、がん医療フォーラムの開催(YouTube配信)、PDCAサイクルの情報共有など、開催方法を適時変更しながら実施できた。最終評価は「A」としたい。

(相談支援部会)

新型コロナ感染防止対策の動向を見守りつつ、部会・研修会等について適切な形態・回数で行えた。「がん相談支援センターPDCA実施状況」の活用や「滋賀の療養情報」の改訂等計画通り実施できた。最終評価は「A」としたい。

(地域連携部会)

今年度の地域連携パスの登録件数は、コロナウイルス感染症の影響を鑑み、昨年度目標「290件」→「240件」としたが、推定値で215件となりの目標値に達しない見込み。胃がん・大腸がんについてはバリアンス分析を進めている。最終評価は「B」としたい。

(がん登録推進部会)

新型コロナウイルス感染症の影響により部会や実務研修の開催方法を変更して、計画通り実施できた。院内がん登録データの公表など計画通りに行うことができた。最終評価は「A」としたい。

(診療支援部会)

コロナ禍のため部会はメール会議で開催した。「がん診療に関するトピックス」や「治療法一覧」について計画通り更新し、「がん情報しが」の内容をアップデートした。「がんゲノム医療」や「若年性妊孕性温存」については部会の中で情報共有を行った。最終評価は「A」としたい。

(研修推進部会)

部会のメール会議での開催、「がん情報しが」の更新を行ったが、コロナ禍のため研修会等の中止・延期が多く、分野ごとの講演会・研修会等の過不足の改善など検討していく必要がある。最終評価は「B」としたい。

(緩和ケア推進部会)

新型コロナウイルス感染症の影響により、ELNEC-J研修・緩和ケアチーム研修会など多くの研修会が中止となったが、緩和ケア研修会は受講対象を自施設職員に限定することで回数を減らして開催することができた。最終評価は「B」としたい。

2. 令和3年度以降の活動について

がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針の中にある要件を根拠に当協議会を立ち上げ、運営している。指針に特に変化はないので、令和3年度以降も現在の体制で活動することを提案し、承認された。

【報告事項】

- 3. 国や都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の動きについて 令和2年11月5日にオンライン形式で開催されたので情報共有した。
- 4. 第12回滋賀県がん医療フォーラムの結果について

今年度は初めての試みとしてYouTubeでのオンライン配信を行った。2月1日から28日までの1ヵ月間で延べ1,467回の視聴をいただいた。オンラインでの開催については、メリット・デメリットあるが、会場に来られない人などより多くの方に講演を聞いていただけることは最大のメリットであると考える。一方でインターネット環境が無い場合などは視聴できない課題が残る。

次年度(第13回)について、会場での開催とオンライン配信のハイブリッド形式での開催ができないか提案し異論はでなかった。会場のインターネット環境などからハイブリッド形式が難しい場合も想定されるが、より多くの方に参加いただける形式での開催方法の検討を進めていく。

5. 県からの報告事項等

(がん診療連携拠点病院等の指定状況)

令和2年度の現況報告は、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、簡易な書類提出となった。要件が未充足であった2病院については、令和3年1月27日厚生労働省開催の指定に関する検討会で要件が充足されたため、令和5年3月末日までの指定となり、平成30年7月の指定要件の厳格化により指定類型が変更なるなどしたが、今年度全ての厚生労働大臣指定の病院が令和5年3月末日までの指定期限となった。

(小児がん拠点病院等の状況)

令和元年に大津赤十字病院と滋賀医科大学医学部附属病院が京都大学附属病院の類型1の連携病院となった。令和3年2月に開催された協議会で、近江八幡市立総合医療センターが、京都府立医科大学附属病院の類型3の連携病院とすることが承認された。

(滋賀県がん対策推進計画・滋賀県保健医療計画の中間評価)

中間評価は2年かけて実施することとし、保険医療計画は5疾病の「がん」の部分。評価にあたっては、進捗の照会について協力をお願いしたい。中間見直しは来年度の県議会に報告する予定としている。

(令和3年度予定の新規・拡充事業、令和3年度予算)

患者妊孕性温存治療助成事業について、県独自の事業だったが、令和3年度から国の補助 事業となる見込み。国の要綱等が定まっていないので来年度定まり次第通知する。ウィ ッグ購入助成を現在一部の市町が行っているが、市町に対して一部助成を行う新規事業 を行う。外来化学療法室の拡充と血液がん患者に対する遺伝子解析機器について滋賀医 科大学に補助する単年度事業を予定している。

令和3年度予算について施設整備もあり、がん関連予算全体は昨年度より2,000万円増額している。

【その他】

下記の意見・質問があった。

(滋賀県がん患者団体連絡協議会 八木様)

医療者の皆さまにはコロナ対策およびがん診療を推進頂き誠に有り難うございます。またがん患者アンケート事業にも多大なご協力を頂きお礼申し上げます。

意見という訳ではありませんが、サバイバーとして期待を述べさせて頂きたいと思います。来年度にかけてがん対策は中間評価が行われ更に継続されていきますが、取組の結果アウトプットが得られ、その結果、がん患者がどうなったか(患者自身の利益・思い)というアウトカムを常に大切にした事業を推進頂ければ有難いです。

(滋賀県がん患者団体連絡協議会 菊井様)

コロナ禍において大変なご苦労の中での診療だったと推察いたします。医療者の皆様に は心から感謝申し上げます。ありがとうございました。これからも続くと思いますが、 よろしくお願い申し上げます。

○昨年度はコロナ禍でピアサポートの場(がん患者サロン)の開催がほぼ出来なかった。今の状況では来年度の見通しもたたない中、ピアサポート開催に向けて、開催場所(例えば付属看護学校内や病院から離れた施設内等)を検討して頂けないかとお願いしたい。

(滋賀県立総合病院)

新型コロナウイルス感染症の拡大状況や変異株の状況にもよりますが、現時点では難しい 状況です。県内・県外の状況なども踏まえて最適な開催方法・時期の検討を進めたいと考 えます。

(滋賀医科大学医学部附属病院)

病院外での開催は、現時点では難しいですが、本院での開催の目途がついたらお知らせ させていただきます。

(大津赤十字病院)

近隣に当院の看護専門学校がありますが、現在、学生の院内実習も受入れを中止・制限しています。このような現状を鑑みますと、残念ながら、サロンを看護専門学校内で開催することは当面の間困難です。

(公立甲賀病院)

〈附属看護学校を検討〉 車で約10分

- ・酸素が必要な方に酸素ボンベはあるが、配管設備が整っていないので安全上、不安あり。
- ・会場となる教室はカリキュラムが組まれている。カリキュラムが優先となるため、サロン開催希望の日時に答えられない可能性がある。

(体育館なら使用できるが冷暖房設備なし)

・看護師がサロンの間、万が一の時のために付き添う必要があるため、がん相談室が不在

になる。

(彦根市立病院)

現在はサポーターの皆さんと協議の上開催を見合わせております、再開のご希望があれ ば場所や日時等を皆さんと検討したいと考えています。

(市立長浜病院)

現時点で当院での患者サロン再開の目処はたっていませんが、今後は病院の方針に基づいて再開の判断をさせていただきます。院外での開催については、現在は考えていませんが、今後ご要望がありましたら開催方法等を一緒に検討させていただきたいと思います。

(高島市民病院)

その時の状況によりますが、感染対策等を実施のうえ開催できるよう、前向きに検討させていただきます。

○毎回オブザーバーとして参加させていただいている研修推進部会と診療支援部会ですが、メールでの会議が開催された為に、医療を受ける側の意見を届けることができなかった。毎回意見を言える場面があり、また、求められる場面があるので残念に思います。 来年度から委員として参加することを検討して頂きたくお願いしたい。

(協議会・部会)

他部会と同様にメール会議の開催時には、オブザーバーの方にも資料とご意見・質問用紙をメールいたします。

○コロナ禍で緩和ケア病棟での対応を苦労されたとお聞きしています。そんな中で、看取られた家族の方から、色々と工夫をしてくださって母を看取ることができて有り難かった。との声が届いています。また一方で、お見舞いがままならない様子なので家での最期を選択したという声も届いております。現状はどうだったのか?コロナ禍でどのような工夫をされたのか?患者さんやご家族にどのようにして緩和病棟でのことを伝えられたのかをお聞かせいただきたい。

(滋賀県立総合病院)

現在院内への入館制限がありますが、緩和ケア病棟は個室であることから、主治医が許可されたご家族の病室での面会は可能となっています。しかし誰でも面会が可能というわけではなく、基本的には、主介護者やキーパーソンは毎日面会可、それ以外は、事前申請の上面会可となることが多いです。また、患者の配偶者・子供・孫・両親・兄弟は毎日及び事前申請での面会が可です。血縁関係のない、患者の子供の配偶者や兄弟の配偶者、友人は面会許可されないことの方が多いです。制限の中ではありますが、面会禁止にはせずに、可能な範囲でルールを決めて面会をしていただいています。

(公立甲賀病院)

- ・患者の状況を週1回ではあるが、電話で報告
- ・2月からはリモート面会を実施

(彦根市立病院)

入院中の面会については、オンライン面会の導入や病状に応じた面会許可を行っています。また、入院中のお荷物を届けていただく際に病棟スタッフから入院中のご様子をお伝えしたり、気軽に電話で問い合わせていただくようにしています。

退院については、療養の場として自宅退院という選択肢も提案し、希望があれば地域の医療福祉職と連携し自宅退院を支援しており、何かあればいつでも再入院が可能であることをお伝えしたうえで、短期間であっても自宅退院を選択する方が増えておられます。今年度は約3割の方が自宅に退院されています。

その他

○昨年度ご協力いただいた滋賀県がん患者アンケート調査の結果から、アンケート調査の

説明と患者支援の窓口や情報についてまとめたリーフレット『がんとともに生きるあな
たへ』を作成しました。ご協力いただいた病院、医師会(診療所)、薬剤師会(薬局)に設
置していただけますようお願いいたします。 郵送にてお送りいたしますので、お手数
をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

その他 特になし

以上のとおり報告します。

令和3年3月31日